

ドラマティック日本史 第4弾

「異界」平安の都

～「四神相応」神社が守る平安京～

講師：若村 亮 先生

日時：12月8日（月）10：00～11：40



■京都 平安京

山城盆地、現在の京都市街後に、唐の都・長安に倣って造営された都。794年第50代・桓武天皇が長岡京から遷都した。

◆四神相応の地

四方に四神が宿る地上で最良の地。北に（玄武：船岡山）、東に流水（青龍：鴨川）、南に湖（朱雀：巨椋池）、西に大道（白虎：山陽道）がある地形をいい、平安京は四神相応の地とされた。

◆神仏による王城鎮護

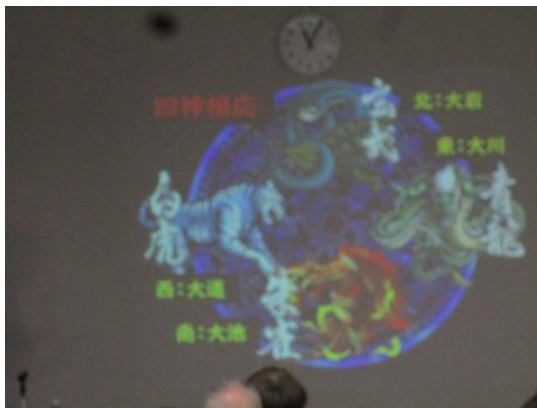
＜東寺＞、＜西寺＞ 平安京内に寺院の建立は認められず、東寺と西寺のみが官寺とされ、護国寺として創建された。

＜賀茂の厳神＞、＜松尾の猛霊＞ 古代豪族・賀茂氏ゆかりの賀茂社（上賀茂・下鴨神社）と、渡来系豪族・秦氏ゆかりの松尾大社は、平安遷都後は王城鎮護の神として朝野から崇められた。

＜城南宮＞ 平安遷都にあたり、王城の南の守護神として創建されたという。

＜鬼門封じ＞ 北東（丑寅）の方向は人々に災いをもたらすと「鬼門」と呼ばれ、悪鬼による災いを封じることが大切とされた。

。



●幸神社

幸神社が鎮座する地「出雲路」は、古代豪族・出雲氏が拠点とした地とされ、古社「幸神社」の主祭神・猿田彦は出雲路の道祖神であったと伝えられている。

平安京が遷都されると平安京の鬼門守護を担ったとされ、現在も社殿の鬼門に木造の猿が祀られている。

●平安新仏教

桓武天皇は、奈良仏教に依存しない、平安京の新しい仏教を模索した。最澄が開いた天台宗と、空海が開いた真言宗という平安新仏教が誕生した。

